

電子自治体の構築に向けての基本的方針の概要 (その1) 電子自治体の基本目標、実現の手法

< 電子自治体の基本目標 >

情報技術(IT)の活用により、小さく効率的な県庁とより大きなサービスの実現を目指す。

県民サービスの向上
行政運営における簡素・効率化、
透明性の向上

実現の手法

実現の手法

新たな経営手法の導入

業務改革 (BPR : Business Process Reengineering)
庁内における業務の流れを、迅速化や効率化、質の高度化等の観点から分析し、首尾一貫した流れへと最適化することにより、効率性や生産性を劇的に改善する。

ナレッジマネジメント (Knowledge Management)
個人や組織が持つ知識やノウハウ等を組織全体で共有し有効に活用することにより、個人の能力の育成や組織全体の生産性の向上、意思決定スピードの向上等を実現する。

戦略的アウトソーシング
単なる「外注」にとどまらず、発注者と受注者が互いに対等なパートナーとして目的を共有し、お互いの資源の最適活用を求めることにより、より付加価値の高い行政サービスの提供を図る。

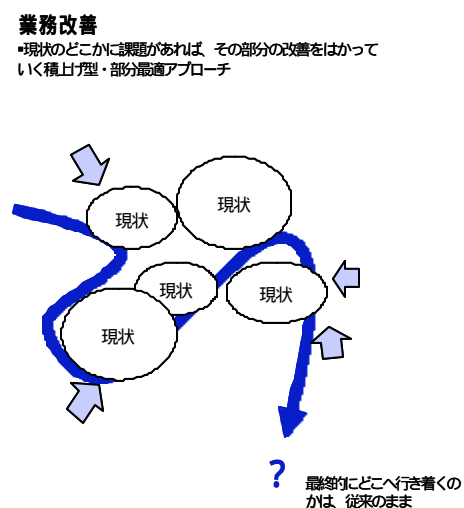
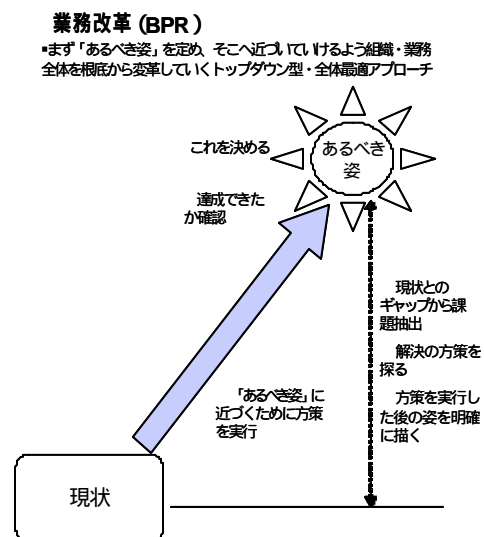
情報技術 (IT) の活用

情報技術 (IT) の特徴を最大限に発揮させ、より高度な業務処理を実現する

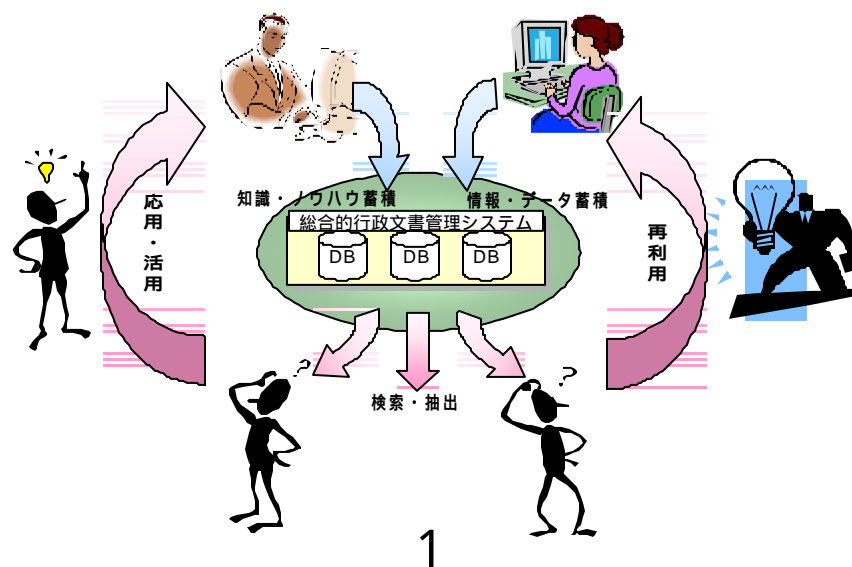
情報技術 (IT) の特徴

- 即時性 : 情報やデータを即時に入手・利用ができる。
瞬時に大量処理ができる
- 同時性 : 情報やデータを同時に伝達可能、地理的に離れた場所で同時に作業ができる
- 共有性 : 情報やデータを複数の人が共有できる
- 再利用性 : 情報やデータを加工し再利用できる。
半永久的に保存できる。

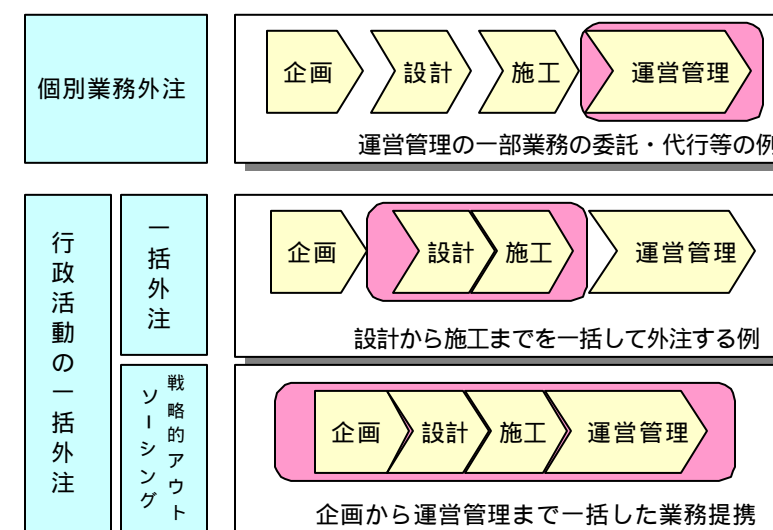
<業務改革 (BPR) と業務改善との違い>



<ナレッジマネジメントのイメージ>



<戦略的アウトソーシングのイメージ>



電子自治体の構築に向けての基本的方針の概要 (その2) 電子自治体のあるべき姿」

県民サービス

行政手続きを電子的に行う電子申請など、ホームページを活用して行うワンストップ・ノンストップ・マルチアクセスの電子行政サービスが提供される。
効率的な業務処理のもと、県民に迅速で質の高い行政サービスが提供される。
情報公開の範囲拡大や手続きの迅速化により行政情報の閲覧が容易になる。
地理情報システム (GIS) など情報技術 (IT) を活用した新たな行政サービスが提供される。
電子化に対し、社会的な弱者への貢献など、デジタルデバイドを克服する仕組みが構築される。

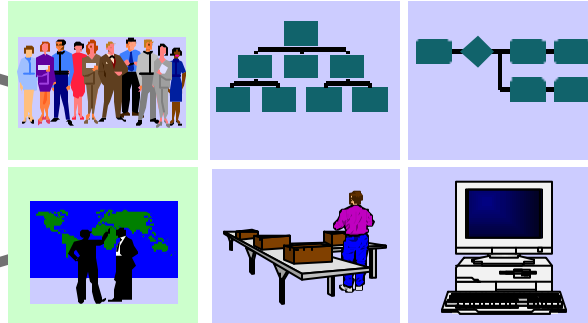
組織

各組織において、本来の目的を達成するために行うべき業務に特化し、専念できる体制が整えられる。
組織の目標が明確に定義され、組織単位での責任と権限が明確に定義される。
組織の目標を的確に遂行するための適正な業務分掌、職員配置がなされる。
目標遂行に対する組織単位の評価手法が確立され評価される。
各事業 (プロジェクト) について、評価手法が確立される。
組織が必要とする人材、個人のキャリアパスが明確化され、それに必要な人材データベースが整備される。

業務プロセス

組織が行う事業に対し、経営管理サイクル (PDCAサイクル) に基づいた業務処理が行われる。
各事業が類型化され、それぞれに対する標準的なプロセス処理が明確化される。
業務処理の見直しに向けた取り組みが継続的・反復的に行われる。
ナレッジマネジメントなど、過去の蓄積を活用した合理的な業務処理を行う仕組みが構築される。
各業務プロセスが整理され、「本来業務」に集中・特化しやすい仕組みになっている。
職員に対し時間及びコストに対する意識を醸成させ、知識の共有や付随業務の削減などの業務改善に結びつく。

県民サービス 組織 業務プロセス



県民・県内企業との パートナーシップ 職員の意識 情報システム

県民・県内企業との パートナーシップ

県民相互及び県民と行政間の意見交換が促進され、行政への積極的な県民参画と開かれた政策形成が実現される。
県内企業の情報リテラシーの向上や県内 IT 産業を育成・振興する仕組みが構築される。
戦略的アウトソーシングの仕組みが構築され、電子自治体にふさわしい合理的な業務処理が行われる。

職員の意識

県民本位の意識が確立されており、職員が共通した認識を持つ。
経営管理サイクル (企画 - 実行 - 評価 - 行動 : PDCA サイクル) の概念が導入され、「スピード重視」「コスト重視」「成果重視」の行政運営が定着する。
職員が、電子自治体の運営にふさわしい情報技術に関する知識・技能を身につける仕組みがあり、情報システムに対し職員の共通した危機意識がある。
職員の庶務事務にかかる負担が軽減され、業務において専門性を高める、あるいは本来業務により多くの時間を確保する。

情報システム

職員及び県民が簡単に使える、操作性が高い情報システムが整備される。
情報システムのセキュリティについて、常時監視する機能が完備される。
電子データの再利用を行うため、基幹システム (電子申請、電子決裁、文書管理、情報公開、財務会計、人事・給与、諸手当 服務、調達 等) を中心に、有機的な連携をもって構築される。
情報システムに対する効率性・利便性・危険性が意識され、対応する組織・仕組みが整う。

電子自治体の構築に向けての基本的方針の概要 (その3)
「電子自治体 (基本方針) の全体像」

電子自治体の基本目標

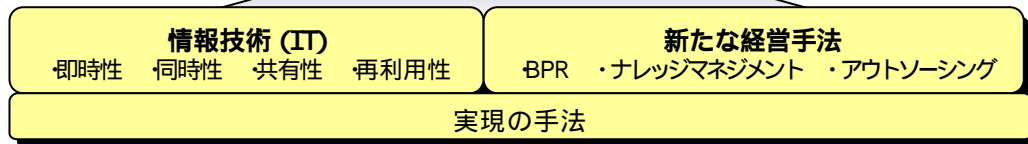
情報技術 (IT) の活用により、小さく効率的な県庁とより大きな県民サービスの実現を目指す

目 標

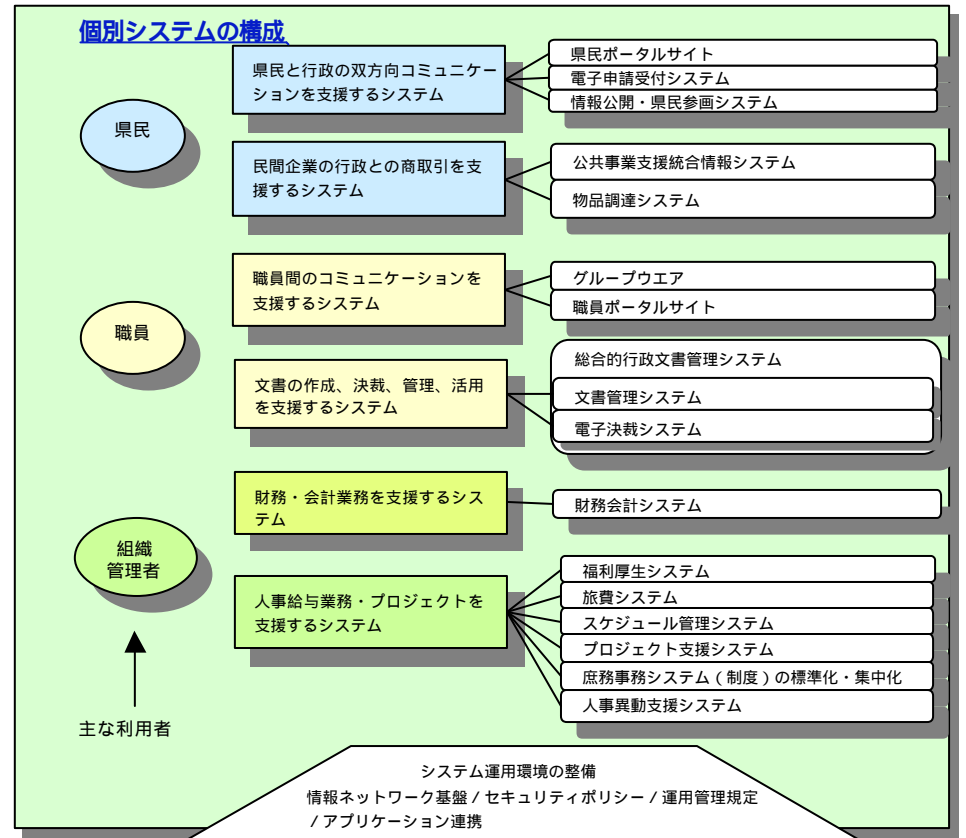
	県民サービスの向上	行政運営における簡素 効率化、透明性向上
県民サービス	電子化による県民本位の行政サービスの提供	行政電子化に即したサービス形態の確立
パートナーシップ	県民 県内企業の参加と連携	民間の経営ノウハウ活用 民間との効率的な役割分担
組織	県民 県内企業からの評価の組織目標への取り込み	本来業務への特化 (目標と責任 権限の明確化)
職員の意識	県民 県内企業志向の意識改革 (ニーズ・満足度向上への意識)	行政経営での「スピード重視」「コスト重視」「成果重視」主義の徹底
業務プロセス	県民 県内企業の評価の活用プロセスの策定	自立的な改善・改革 (BPR) の継続
情報システム	県民の利用が容易なシステム (ワンストップ・ノンストップ・マルチアクセス)	職員が簡単に使える操作性が高いシステム 基幹業務システムを中心とした他システムとの連携

6つの視点

2大ツールの積極的活用



個別システムの構成



スケジュール

	H14年度(2002)	H15年度(2003)	H16年度(2004)	H17年度(2005)	H18年度(2006)	H19年度(2007)
県民ポータルサイト						★
電子申請受付						★
電子納品		★				
電子入札						★
公共事業支援統合情報						★
物品調達						★
グループウェア						★
職員ポータルサイト						★
総合的行政文書管理						★
予算編成						★
会計						★
決算						★
福利厚生						★
旅費						★
スケジュール管理						★
プロジェクト支援						★
人事異動支援						★

Legend:
■ : 構想・計画策定、分析
★ : 設計、構築、導入
☆ : 運用開始

マルチ・アクセス ~ どこからでも利用可能

家庭



家庭のパソコンから利用

オフィス、街頭



・勤務先、出張先から利用
・携帯電話などの情報端末から利用
(ニュース・災害情報等)

公共施設等



・公共施設等に設置されたパソコン等の端末から利用可能

企業・金融機関



・申請に伴う手数料などの電子決済が可能
・電子入札など電子調達への参加が可能

ノンストップサービス
休日でも夜でも、
いつでもできる

電子申請



電子調達



パブリック・コメント



ワンストップサービス
一つの画面から複数の
手続きができる

サイトを越えた検索機能

電子申請 パスポート 身体障害者手帳 県職員採用試験 XXXXXXXX 電子申請 施設予約 電子調達 県民参加 アンケート XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX	パブリックコメント PF:事業導入指針に関する意見募集 県立女子短期大学改革に関する意見募集 XXXXX XXXXX XXXXX	県からのお知らせ 暮らしの情報 イベント情報 きょうの天気 観光スポット XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
電子調達 現在の調達情報 今後の調達予定 過去の調達実績 XX施設の3月予 施設 月予 XXXXXXXX	県民フォーラム 市町村合併 エコパーク ヴァンフォーレ甲府 XXX XXXXXXXX	県からのお知らせ 暮らしの情報 イベント情報 きょうの天気 観光スポット XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

登録情報を元に
関連性のある情報に
絞った表示

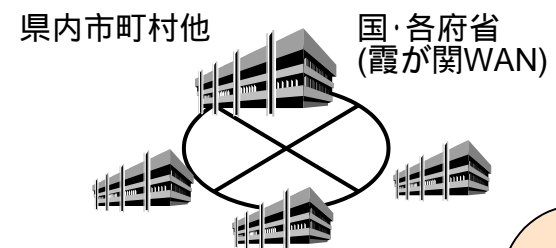
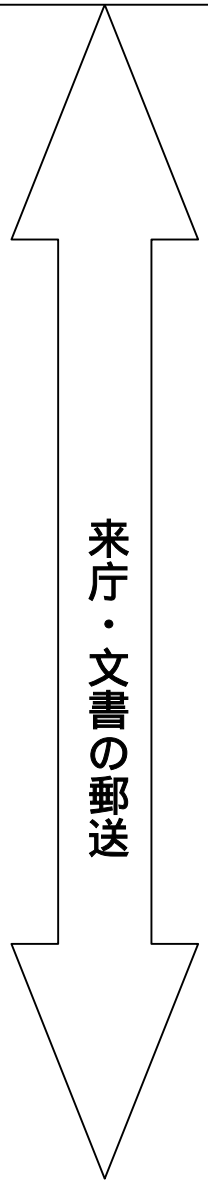
従来のコンテンツ

サイトでのアクセス
状況を元に
情報を絞って提供



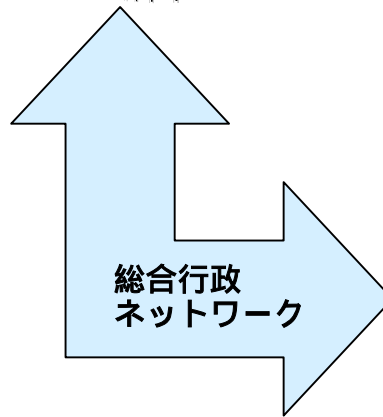
いつでも
どこでも

従来からの行政サービス
・従来からの行政サービスは、今後とも
同様に利用することができる。



インターネット

電子自治体



職員ポータル

今日の仕事 業務予定 XXX スケジュールに基づく 作業計画および 必要処理要件の表示 XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX	メール 到着 xxx件 未読 xxx件 緊急 xxx件 要対応 xxx件 処理中 xxx件 VideoMail xx件
お知らせと掲示 指示・命令 XXXXXXXX 掲示 各自の職位・職費に 応じた情報の閲覧 指示・命令の一覧 XXXXXXXX XXXXXXXX	マイページ 各自の努力目標 好きなPageだけでなく 業務上必要なページ XXX業務ページ 今日 対応要件 xx 件 対応要件 xx 09:00-10:00 XXXXXXXX 10:00-11:00 XXXXXXXX 11:00-12:00 XXXXXXXX 勤務会計 業務会計

職員の勤務状況、業務執行状況など、情報システムから組織管理者に必要な情報を入手することにより、職員の業務遂行を支援する。



事業の執行状況
職員の勤務状況
業務支援
組織管理

組織管理者

プロジェクト支援システム 人材データベース 財務会計システム

電子決裁

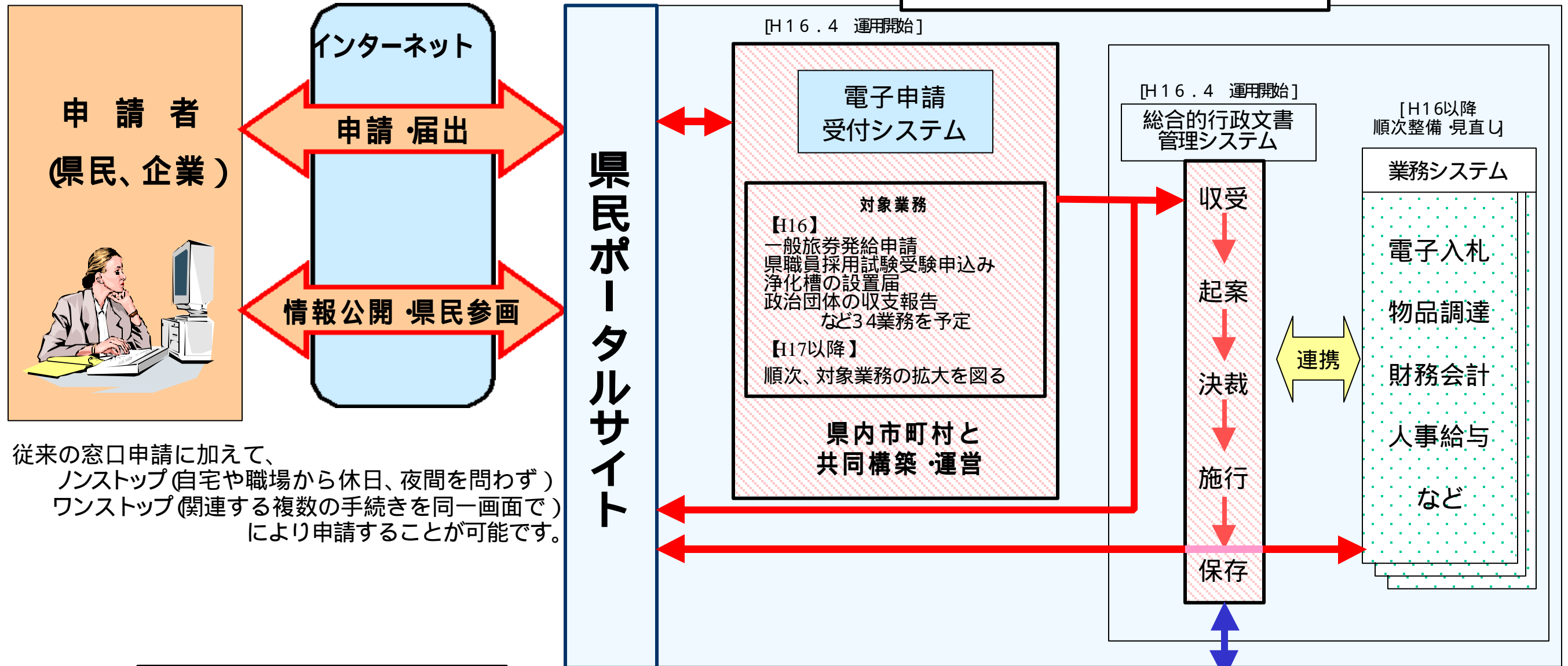
総合文書管理システム

1人1台パソコンから、情報システムを通して整理された情報を容易に入手することにより、迅速な県民サービスの提供など業務の効率化と質的な向上が図られる。

電子自治体の効率性を従来サービスにも反映

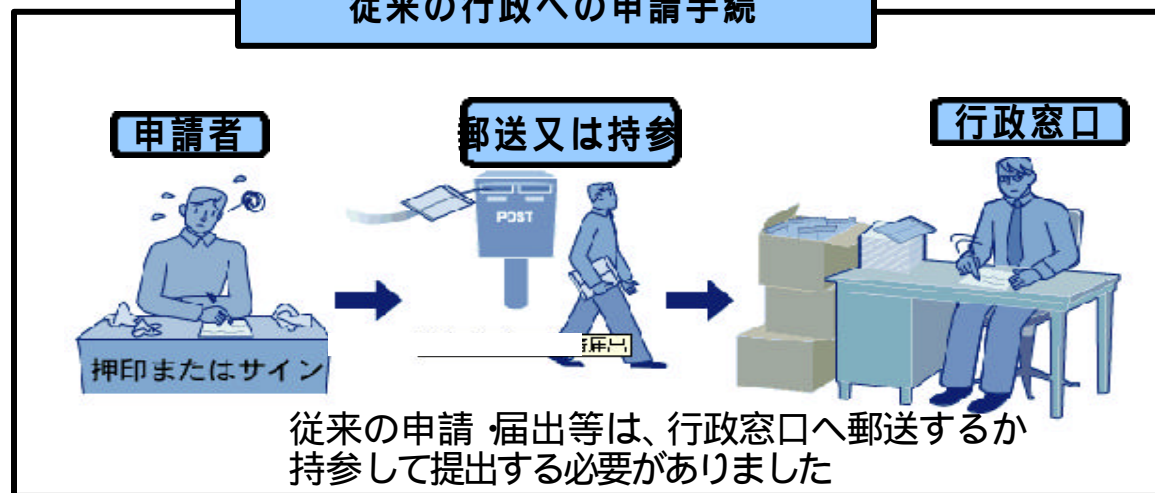
従来からの行政サービス
・平日、本庁・出先機関での窓口サービスが中心
・紙文書による申請や届出及び郵送

電子自治体の構築に向けての基本的方針の概要 (その4)
「電子申請受付システムの活用イメージ」

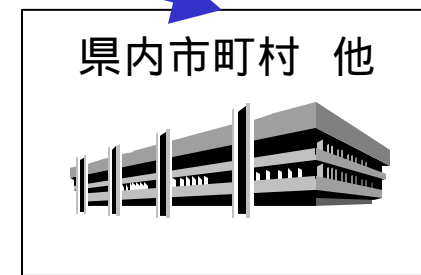
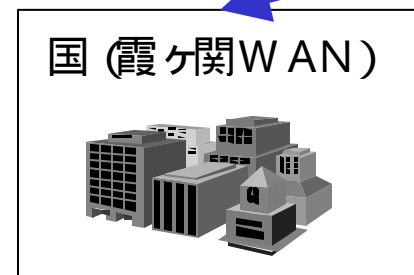


従来の窓口申請に加えて、
ノンストップ (自宅や職場から休日、夜間を問わず)
ワンストップ (関連する複数の手続きを同一画面で)
により申請することが可能です。

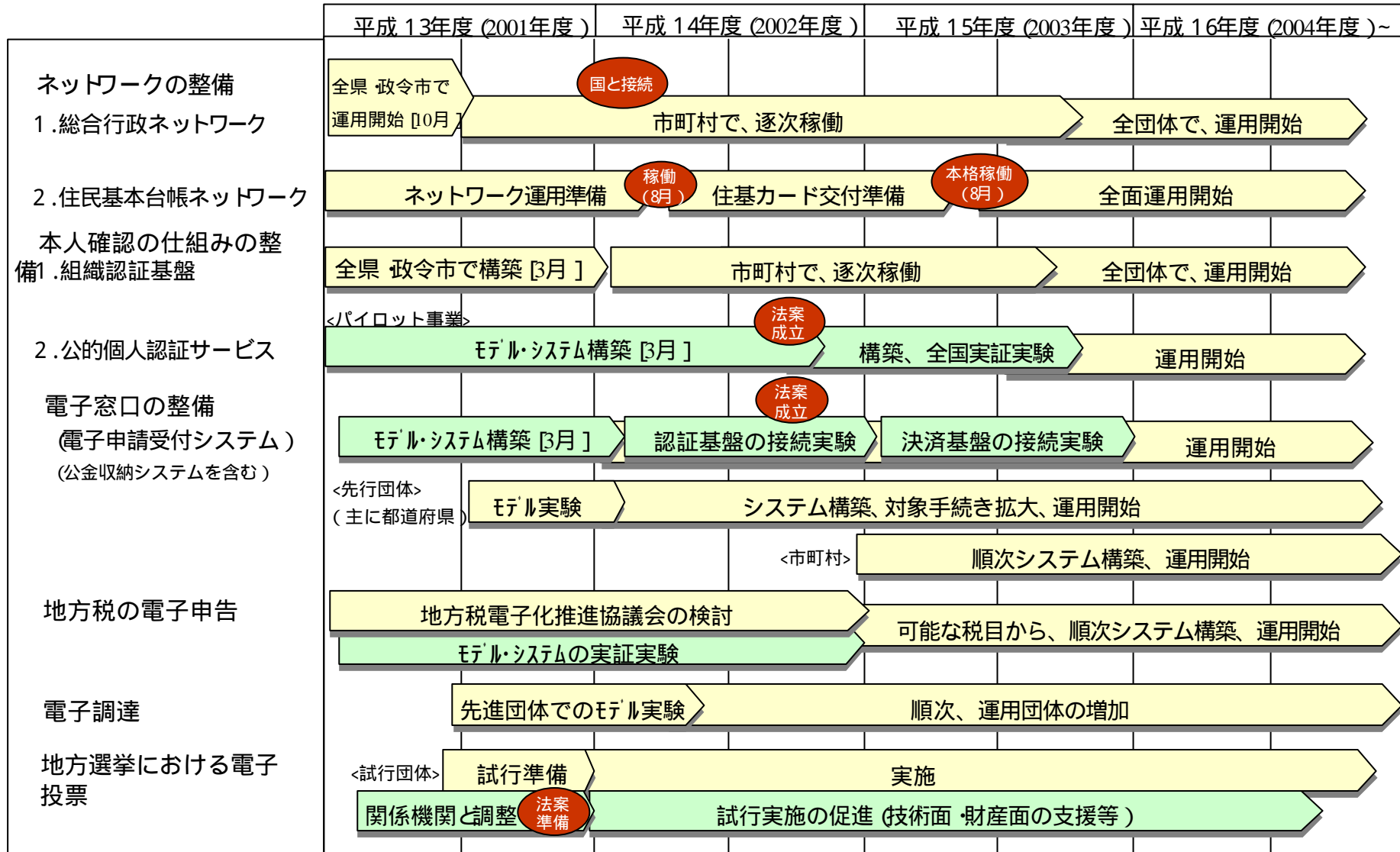
従来の行政への申請手続



総合行政ネットワーク
(文書交換)



地方公共団体における電子化スケジュール



(注) 地方公共団体の取り組みを で、また、これに対応する国の支援策(国費)を で表示
 総務省「アクション・プラン2002のとりまとめについて」(2002年7月30日)の図を一部修正・追加